

第16回青森県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 意見総括

11月28日(月)に開催した第16回青森県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議において、

1点目として、県内の感染状況は、新規感染症患者が前週比で増加し続けるなど、全国と同様に感染局面が続いているものとした県の感染状況の評価は妥当であること

2点目として、政府が示した「オミクロン株対応の新レベル分類」に沿って見直した「青森県における新レベル分類の運用(案)」は妥当であること

3点目として、新レベル分類における青森県の11月28日時点のレベルは「レベル2」が妥当であること

との結論にいたった。

なお、会議における主な御意見としては、

○確保病床使用率の他に、医療現場の負荷の実態をモニタリングする必要がある。

○レベル2とレベル3の違いなど新レベル分類の対応を具体的に県民にわかりやすく示す必要がある。

○全ての医療機関が発熱者を普通に診察できるように、診療・検査医療機関を原則全てにしてほしい。

県としては、これらの御助言を今後の保健医療提供体制の確保等に役立てていくこととした。